

【鳥取県】具体的な取組内容 ①（参入促進）

参入促進

1. すそ野を広げる ～多様な人材の参入促進を図る～

介護の3つの魅力(楽しさ・深さ・広さ)の情報発信によるイメージアップ

- 中高生対象介護魅力発信DVD及び介護職場広報プログラム映像制作による介護の仕事の理解促進【基金】
- 地域住民や小中学校の生徒に対する介護教室【基金】

- H27に企画検討委員会を設置、内容や構成シナリオについて検討⇒H28以降、完成したDVD等を中学校・高等学校に配布
- 5か所で介護教室を開催、参加者150名

高校教師・親の理解促進、地域志向型の若者の掘り起こしの強化

- 中学生と親に対する介護職イメージの把握のための調査実施【基金】
- 進路担当職員向け説明会の開催【基金】
- 県内すべての高等学校を訪問し、進路担当職員から情報収集及び生徒への就労支援事業等の説明

- 3地区・150～300人に調査⇒調査結果を県内の団体とも共有し、今後の方策につなげる
- 説明会に3地区で50名の参加

中高年齢者の地域ボランティア参画等の促進

なし

その他の「参入促進」の取組

- 中高生夏休み介護の仕事体験事業【基金】…夏休み中の中高生に介護の職場で仕事体験をしてもらい、介護の仕事や魅力について知ってもらう
- 地域住民が介護職員初任者研修を受講し、研修を修了した場合に受講料を補助【基金】
- 介護福祉士等の養成事業を図るため、修学資金の貸付を行っており、養成施設入学前の高校生に対し、貸付内定を実施

- 中高生受入登録50施設、参加申込者約100名
- 地域住民の介護職員初任者研修修了者45名

【鳥取県】具体的な取組内容 ② (労働環境の改善)

労働環境・処遇の改善

2. 道を作る ~キャリアパスを構築する~

3. 長く歩み続ける ~定着促進を図る~

代替職員の確保等による研修機会の確保

○短時間勤務職員が研修を受講する際の研修受講料及び代替職員確保時の人件費の一部を補助【基金】

○受講料及び人件費の補助 50名

小規模事業所の協働による研修支援

○介護職員、小規模事業所グループの支援【基金】

○5グループを支援

エルダー・メンター制度の導入支援による早期離職の防止

○働きやすい職場づくりに向けた階層別研修【基金】

○指導的職員への介護技術研修受講者 80名

事業所内保育所の運営支援による出産・育児との両立支援

なし

雇用管理改善の推進 (介護ロボット導入支援やICTの活用 等)

なし

その他の「労働環境・処遇の改善」の取組

○介護従事職員が定着しやすい職場づくりを推進するため、事業者を対象とした研修等を実施【基金】

○研修参加者数 250名(2か所)

※ 適宜、参考となる資料を添付してください

【鳥取県】具体的な取組内容 ③（資質の向上）

資質の向上

4. 山を高くする ～継続的な質の向上を促す～

5. 標高を定める ～人材の機能分化を進める～

マネジメントや医療的ケア・認知症ケアなどの研修の受講支援

- 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)の3段階のスキルアップ研修【基金】
- 地域ケア会議で助言ができる言語聴覚士の養成研修【基金】
- キャリア段位制度に対するアセッサーを育成する事業所の支援【基金】

- 研修参加者 300人
- 言語聴覚士の地域ケア会議助言者・講師の養成 50人
- アセッサーを育成する事業所 40施設

その他の「資質の向上」の取組

- 市民後見人の養成及び成年後見制度の普及シンポジウム開催【基金】
- 介護職員の事業所全体レベルアップ研修の支援【基金】
- 小規模事業所の初任段階介護支援専門員への実地指導によるキャリアアップ【基金】

- 市民後見人の養成 15人
- 100名(3事業所)×5回の研修実施
- 3～9事業所で実地指導

協議会設置

協議会の構成団体

- ※既存の協議会との棲み分け等について検討中。
- ※他県の情報を収集中。

平成27年度に議論を想定している議案

人材育成に取り組む事業所の認証評価制度の検討状況

- ※評価制度について、国や他県の情報を収集中。